

自動車小売業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	9~10	修理で引き取りした大型車を駐車して降車し、ドアを閉める時、足元が路面凍結していたため踏ん張りが効かず、滑って腰から転倒した。	68	417	2	50~99
2017	1	9~10	レッカーにて搬入された自走不能の大型4軸車両を工場内の整備ベイへ入れるため、約15人の作業員で車両を押していた。その際、車両右側1軸目と2軸目の間で車両を押していた作業員の足が、2軸目の車輪に巻き込まれ転倒し、車輪に足を轢かれた。	27	221	7	50~99
2017	1	9~10	店内の車両展示場にて、4段脚立にのって展示場内風景の写真を撮影中、4段脚立より転落した。なお、お客様への提案書類として活用するため、撮影を行っていた。	52	371	1	100~299
2017	1	17~18	本社から、当社前交差点を挟んで斜め向いにある当社展示場へ、展示場に掲げてあった営業用旗を取り外すため、交差点の横断歩道を渡っていたところ、交差点を右折してきた車両にはねられ腰部を骨折した。	28	231	6	1~9
2017	1	12~13	店舗工場において、車両の変速機の交換作業中、足元を滑らせバランスを崩した事から、車両より取り外した変速機に誤って触れたため、左足すね部分に変速機が落下し受傷した。	41	521	4	—
2017	2	9~10	除雪のために長靴を自分の車に取りに行く途中、会社敷地内の凍結した路面で転倒し頭部と腰部を打撲した。	35	719	2	10~

									29
2017	2	17~18	店舗内にて二輪車整備をしている際、誤ってリアホイール及びチェーンが回転しているにもかかわらず、チェーン清掃作業を続けたことにより、手を巻き込み、チェーンおよびスプロケット（ギア）に指（左手）を挟んだ。	20	121	7			1~9
2017	2	19~20	帰りの戸締まりをし、第二工場から歩いて出ようとしたところ、タイルが濡れていた為滑り転んでしまった。脇のアスファルトの部分で止まったが、その為に左足に圧力が掛かり脛の骨が折れて負傷した。	42	417	2			30~49
2017	2	17~18	当社への店舗間を移動している際、床で足を滑らせ転倒し、展示場の支柱に左足を打ちつけ骨折してしまった。	45	417	2			—
2017	2	10~11	洗車ラインにて新車の拭き上げ作業中フロントガラス内側を拭いている時、インナーミラーで死角にありスマートアシストセンサーがあるのに気付かず拭き上げしようとしたため右手が当たり中指を骨折した。	61	231	3			10~29
2017	3	16~17	当社店舗の洗車場において、洗車作業の為、脚立に乗って車のルーフ部分を洗い、下りようとした際に誤って脚立の階段を踏み外し、高さ40cm位から転落し、脊柱を圧迫骨折、腰部を打撲した。	61	371	1			1~9
2017	3	13~14	当社内において、お客様の大型車両（トラクタタイプ）の洗車作業を行っていた。作業のため車両の荷台のプラットホームに乗っており、車両が濡れている状態で、別の場所に移動しようとした際、足を滑らせ落下した。落下の際、車両の隙間に足を引っ掛けて肩から落下し、左肩・右足・背中を負傷した。	58	221	1			300~499
2017	3	12~13	工場内の洗車場で、点検整備車両の車内を掃除し、前かがみの姿勢から起き上がる時、腰を痛めた。	34	921	19			10~29
			展示している車の拭き掃除を他の従業員と一緒にいたところ						10

2017	3	10~11	ろ、他の従業員が被災従業員がいるのに気付かず、開いていた車のドアを閉めたため、右手の第4指と第5指を挟んだ。	47	231	7	~ 29
2017	4	17~ 18	工場内で車の整備中、車にナンバーを取り付ける際に、部品をジャッキの上に載せようとして持ち上げようとして体勢をくずし、右足首を捻挫した。	28	611	19	1~ 9
2017	4	10~ 11	修理用4t車のキャブ事故車両に雨水が入らないようブルーシートがかけてあった。ブルーシートが外れかけていた為、3人でシートのかけ直しを行っていた際、キャブ上部の鉄板が曲がってシートがうまく張れなかった為、脚立4段目に足をかけてその状態で鉄板を曲げていたところ、不安定な状態となり転倒しそうになった為そこから飛び降りて受傷した。	58	417	3	30 ~ 49
2017	4	15~ 16	構内洗車場付近のゴミを片付けようと移動中につまずき、地面に左膝から転倒した。左膝に若干の違和感を感じたが痛みも弱く歩行もできたため、定時まで勤務を続け帰宅した。その後、患部がひどく腫れ、膝を曲げるのがつらくなった。	57	419	2	100 ~ 299
2017	4	14~ 15	構内で車の清掃作業中に運転席側のマットをめくり、フロアの右隅を右手首を曲げて掃除機をかけていた時に、手首をひねった感じになり、ぎくつとなった。痛みを感じていたが、段々と痛みがひどくなり、車のキーを普通に回すことができないほどになった。	48	911	19	10 ~ 29
2017	4	14~ 15	自動車整備中、力を入れてボルトを回そうとした際に手が滑り、右手を鉄板にぶつけた。	33	364	3	1~ 9
2017	4	14~ 15	事業場内整備工場にて、車両のリアマフラーインシュレーター交換作業中、床に置いていた部品を取り立ち上がった時に、使用中の作業用支持ポールが視界に入っておらず右目にぶつけてしまった。	57	391	3	1~ 9
2017	4	14~ 15	お客様の自宅付近の上り坂にて、積載車にて移動した車両を降ろす際に車両止めやフックを外し、荷台を下げた際に車両が荷台からずれ落ちたとき、荷台に手を置いた場所へ車両の右前タイヤが当たり(挟まり)負傷した。	53	231	7	100 ~ 299

2017	5	15～ 16	スロープの所で車を誘導中、足を踏み外し約1m50cm下に落下した。	61	419	1	1～ 9
2017	6	16～ 17	タイヤ整理時に、タイヤを持とうとしたところ、右肩より「グキ」と音がして、その後、力が入らなくなった。	57	921	19	1～ 9
2017	6	10～ 11	会社の工場でバケツを両手に持ち歩行していたところ、急性腰痛症が発症した。	20	611	19	10 ～ 29
2017	6	12～ 13	信号のある交差点での衝突だったが、記憶がないため、こちら側の信号が青だったか赤だったかは不明となる。こちらの車は縁石を乗り越えて停止し、相手の車はポールに当たって横転した。勤務時間中に営業活動をしている時に起こったものである。	23	231	17	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	トラック陸送業務中、納車先に大型車を止め、運転席から降りる際にステップに足を引っ掛けてしまい、頭から地面に落ちた。反動で左足も地面に強く打ちつけ、かかとの骨が折れた。救急車で病院に搬送されたが、意識はあり、脳に異常などは見られなかった。翌日病院でCT等の検査を行い、右足の骨折が判明した。	46	221	1	30 ～ 49
2017	6	0～1	荷物置場で解体車両をクレーンで積み込む作業をしていた時のことである。車を2m程度吊り上げて、車の下にワイヤーを通すため車の下に入っていた時、ワイヤーが切れてしまい、解体車両が落下して接触した。（脊髄損傷他、骨折多数）	59	212	4	30 ～ 49
2017	6	18～ 19	当社店内で、受け入れた派遣労働者が、自動車の後輪タイヤを取り外し、ハブベアリングを引き抜く作業をスライディングハンマー（重さ約5kg）を使用して行った時に、ハンマーを握っていた右手の小指を、ハンマーとグリップのつばの部分の間に挟んで骨折した。	47	364	7	10 ～ 29
2017	6	13～ 14	工場内で、ブレーキランプの交換作業中に、新しいランプを取り付けようとしたところ力を入れ過ぎ、ランプが割れ、破片が右手掌に刺さり負傷した。	48	529	8	10 ～ 29

2017	6	7~8	納車のため積載車助手席に搭乗し、トンネルを走行中、前方トラックに追突して横転し、負傷した。	26	221	6	30 ~ 49
2017	7	16~17	3階駐車場に車両を駐車し、徒歩で斜路を下った際、雨で濡れていた場所で滑ってしまい転倒。その際に左足首を捻り、亀裂骨折となる。	61	719	2	30 ~ 49
2017	7	14~15	勤務先の自動車整備工場内で、車両の検査業務をしている時に、一旦、車両から離れて戻ると車両が前進していた（シフトをN：ニュートラルに入れたつもりが誤ってD：ドライブに入れていたため）。咄嗟に車両を止めようとして、車両と壁の間に挟まれてしまい、右ひざを負傷したもの。	31	231	7	1~ 9
2017	7	10~11	一般工場の下降式フロアピット内で、ミッション交換の際、取り外したミッションを専用ジャッキに乗せて移動し、車両前方の階段部分から出そうとしたところ、ジャッキのキャスターが階段部分の隙間に落ちてバランスが崩れ、ジャッキを支えていた左手人差し指の上にミッションが落下し、骨折を負った。	24	612	4	100 ~ 299
2017	7	11~12	トンネル内で走行中、脇見運転してしまいセンターラインをはみ出し対向車と正面衝突した。	21	221	17	1~ 9
2017	7	18~19	店舗敷地内の駐車場付近において、整備工場外に止めてあった原動機付スクーターを工場内へしまうため、走行させたところ工場横の浄化分離槽のマンホールでスリップし転倒、右肩を脱臼した。	42	231	2	10 ~ 29
2017	7	21~22	駐車場でローダーにのせた車をおろそうとローダーの後にあるアオリ（囲い）をおろしアオリに足をかけた時、右足の筋を伸ばしてしまった。検査をしたところ靭帯に損傷があると診断された。	35	921	19	30 ~ 49
2017	7	10~11	車のルーフの汚れ落としの作業をしているときに脚立を使い作業をしていたが降りる際に足を踏み外し転倒し負傷した。	53	371	1	30 ~ 49

2017	7	17~18	店舗中2階のサービス事務所から1階ショールームに通じる階段において2階から1階に下る際に最後の1段を右斜めに左足をついたために左膝をひねり受傷した。	40	417	3	10 ~ 29
2017	7	8~9	倉庫地内に於いて、レッカー車から切り離れた被牽引車両の前部から、連結部品（アタッチメント）を取り外そうとした際、当該部品が左手親指上に落下し負傷したものの。	45	379	4	30 ~ 49
2017	7	16~17	磨き作業場にて車両の高さ約190cmのミニバン。脚立の高さ約150cmの上でルーフ磨き作業中脚立が後方に倒れ落下。左足踵骨折。	57	371	1	10 ~ 29
2017	7	22~23	左リヤ前輪トルクロッド取付時の際、取付ボルトの位置を合わせるため、左前輪タイヤの下にジャッキを入れ高さを調整し取付ボルトを入れる時にタイヤの下のジャッキが外れ、左前輪の位置が下がり左手の指が挟まれた。	21	363	7	30 ~ 49
2017	7	15~16	洗車場において、バックで洗車場から移動する車輛を誘導していたところ、躓いて転倒し、体をかばうため、右手で床を強く打ち、負傷した。	63	417	2	10 ~ 29
2017	7	17~18	事業場にてタイヤ部品を加工中、部品が外れて顔面に当たった。	67	519	15	30 ~ 49
2017	7	11~12	整備工場内のタイヤチェンジャーを使い、ホイールからタイヤを外す作業において、劣化の激しいタイヤが硬く、ドートブレイカーの力がうまく伝わらずにホイールが逃げてしまうので、やむなく右膝をタイヤホイールに押しつけて外す作業を複数回行い、右膝を傷めた。	38	911	19	1~ 9
			工場内で、帰宅する前の工場の後片付作業中に、以前クレームで交換した運転席用と助手席用エアバッグ各1個合計2個を産業廃棄物として業者に後日引き渡すため、展開処理を行うこととなった。処理の準備をした複数の社員は過去の展開作業の記憶に頼り、整備マ				

2017	7	19～ 20	ニユアルの展開手順を確認せず、またその知識、威力及び安全に対する認識が欠如したまま準備を進め、よりによってタイヤの上に別の社員を座らせ、運転席のエアバッグ展開作業を怪我なく完了した。2回目に助手席分の処理準備を1回目と同様に行い、1回目とは別の社員が座り展開を実施したところ、風圧で飛び上がり落下する際に受け身が取れず、左手及び頭等を床に打ち付け鼻血が出たので救急車を呼び病院へ搬送され入院となった。	34	391	3	10 ～ 29
2017	7	11～ 12	車検整備中リフトアップした車両に乗り込み車両から降りる際にリフトのアームに足が引っ掛かり転倒、左手で床につき左手親指を骨折した。リフトを十分下段まで、下げずに少し上った状態で降りした為転倒した。	20	214	2	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	整備工場内にて、車のタイミングベルト交換作業中、タイミングベルトを左手で固定したままの体勢で右斜めうしろの地面に置いてある工具を取ろうとした。右腕をうしろ下方向に伸ばし、少しのけぞる形になってしまったため、足と腕のバランスを崩し転倒した。その際右手の甲から地面に着いてしまい骨折した。無理な体勢で工具を取ろうとしたことが今回の事故の原因である。	21	417	2	50 ～ 99
2017	7	13～ 14	工場にて自動車整備作業時、気持ちが悪くなり、3回嘔吐し、休憩していたが改善しないため病院にて受診し帰宅したが、夜になっても気持ちが悪いのが続くため、緊急で病院を受診し入院した。	22	715	11	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	得意先の車置場で廃車の引き取りの際、車を積んだ後に高さ1m程のサイドステップから飛び降りたときに、地面にあった石を踏んで転倒した。ちょうど石の上に降りたため、右足首を捻って転倒し、右足首を負傷した。	30	221	2	10 ～ 29
2017	7	21～ 22	客宅に誕生日のお花を持って行った帰り道で、暗く狭い道だったため、道を踏み外して右側に転落し（高さ1.8m）、左足首を骨折した。	49	417	1	10 ～ 29
			敷地内トラック陸送業務の為、工場内に大型車を止め運転席を正面				

2017	9	9~ 10	にして後ろ向きで降車する際、左足をステップ置き、右足を運転席側からずらして次のステップへ移動させようとしたものの、足をひっかけてしまい、バランスを崩し1.5m位の高さ腰から地面に落下する。地面に強く打ちつけ身動きが取れず、救急車にて搬送し治療を受ける。意識は有り脳に異常などは見られなかったが、身動きが全く取れない為、そのまま入院になった。	47	221	1	~	50 99
2017	9	14~ 15	当社営業所洗車場前にて、脚立に乗って鉄くずクレーン車両の洗車作業を行っていたところ、左後部の洗車作業が終わり脚立から降りる際、足を踏み外して後ろ向きに転落した。転落する際、脚立を掴んでおり、脚立ごと一緒に後方へ倒れ、脚立が負傷者の上に乗っかってしまい、倒れた際に腰と頭部を地面にぶつけ、頭部は着用していたヘルメットの後部調整ベルト部分が当たり、負傷した。	53	371	1	~	50 99
2017	9	11~ 12	トラックエンジンセミオーバーホール作業中、車両下部において、エンジンコンロッドを締めつけたところ、コンロッド取り付けナットからボックスが外れ、握っていたトルクレンチとともに勢いよく手がシャシーフレームの方向へ飛ばされ、フレームの間に右手薬指が挟まり受傷した。	32	364	7	~	30 49
2017	9	18~ 19	乗用車の12ヶ月点検を行うため、車体を上げようとリフトのアームをジャッキアップポイントに載せようとした際、車高が低くアームが入らなかったため、車のフェンダー部分を持ち上げてアームを入れようとした際、想像以上に車が重かったため、腰に負担がかかり、腰を痛めたものである。	45	231	19	~	30 49
2017	9	10~ 11	会社の敷地内で自動車の納車点検を脚立に登っておこなっていた所、その脚立から足がすべって地面に落下した、全体重が右足ののったため、右踵骨を骨折した。	39	371	1	1~ 9	
2017	9	10~ 11	朝、車輛引き取りに行き、リヤバンパーを積み込もうとして後板を押し閉めるとき、左手の指が残っているにもかかわらず、右手で後板を閉めてしまい、挟んでしまった。	19	221	7	~	10 29

2017	10	13～ 14	店内・サービス工場のトイレから出る時に、照明を消そうとして、左手のみトイレ内に残し、体は外に出た。その際、トイレの鉄扉が閉まり、左手中指を挟み負傷した。	47	418	7	～ 29
2017	10	15～ 16	トラクタの試運転準備でカプラを結合した後、プラットホーム右側から降りる際、足が滑って落下し、腰から地面に落ちた。	59	221	1	～ 99
2017	11	9～ 10	当社において敷地内の除雪作業中、敷地面が降雪により滑り易くなっていた為、足を滑らせ体のバランスを崩し転倒した際、右腕が体の下になり負傷したものである。	49	719	2	～ 49
2017	11	13～ 14	構内お客様駐車スペースでお客様の軽乗用車の後部荷物スペースに軽乗用車用タイヤ（ホイール付・15kg前後のもの）を積み込んだ時に、腰に強い痛みを生じた。その時は、痛みはあったものの作業を中止しなければならない程とは思わなかったため、上司には報告せず作業を続け退社後、医療機関を受診した。	43	611	19	～ 29
2017	11	10～ 11	物流センター敷地内にて、積載車で公道に出ようとした際、忘れ物に気づき、積載車から降り事務所向かったところ、積載車が動き出し、車両に戻ろうと走って行く途中転倒した。	62	417	2	～ 29
2017	11	10～ 11	弊社工場内において車両のエンジンオイルを交換する作業をしている際、エンジンオイルを車両から抜くマシンを起動させる為、電源プラグをコンセントにつなげようと2～3歩移動したところ、車両のタイヤをのせブレを計測するための器具を設置している段差（5cm程）に足を取られ、捻るような形で体勢を崩した。その際、左足の甲を骨折したものである。	57	416	2	～ 29
2017	11	15～ 16	軽自動車の天井を脚立を使用し、拭き上げ作業中、脚立の脚が折れ高さ約55cmから転落し、左肩を打撲した。（原因）脚立が使い込まれており老朽化していたと思われる。	25	371	1	～ 29
2017	11	17～	工場外にある、廃棄物置き場のコンテナが満杯になっていたため、そのコンテナの上に登り片付けた後、降りる時に、高さ2m位の所か	41	391	3	1～

		18	ら飛び降り、右足かかとを骨折した。					9
2017	12	11~12	<p> 鋳金塗装工場において、オーバースライダーの上部清掃のため、フォークリフトで足場をつくり、足場に昇るために2つ折りの脚立を伸ばした状態で使用していた。1ヶ所目の清掃が終わり、2カ所目の作業中に脚立を昇っている途中で、脚立のロックが外れ、脚立が二つに折れてしまい、そのまま地面に落下し倒れた。（脚立の使用向きが逆であったため、ロックピンに負荷が掛かり、ピンが破損してロックが外れてしまった。） </p>	70	371	1	~	50 99
2017	12	11~12	<p> 当社サービス工場で、ステアリングユニットアームを外そうとした時に特殊工具が外れ、右ひざに工具が当たり、右ひざを負傷した。 </p>	21	169	4	~	30 49
2017	12	9~10	<p> 職場にて左手に水の入ったバケツを持ち、右手に脚立を持って前方に歩き出し、段差のある地面（2cm位）に右足の先端（つま先）をつまずいて前向きに転び、左足ひざおよび両肩を痛めた。 </p>	66	417	2	1~	9
2017	12	11~12	<p> 工場内東側の換気扇の清掃中、脚立に乗っていてバランスを崩し転落し、左手首を骨折した。 </p>	57	371	1	~	10 29
2017	12	13~14	<p> 正面入口前の歩道にて、歩道を暴走してきた普通乗用車にはねられ救急搬送された。 </p>	31	231	17	1~	9
2017	12	15~16	<p> 西へ直進中、右折してきた対向車と接触した。 </p>	56	231	17	~	50 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html